

5月7日(火)~26日(日)
彩の国シェイクスピア・シリーズ2nd Vol.1
『ハムレット』

5月25日(土)
エトワール・シリーズ プラス
佐藤晴真(チェロ) Part.1 無伴奏チェロ・リサイタル

6月8日(土)・9日(日)
コンドルズ埼玉公演2024新作『Here Comes The Sun』

6月28日(金)
[共催]加藤訓子プロデュース スティーヴ・ライヒ プロジェクト
「kuniko plays reich II / DRUMMING LIVE」

7月7日(日)
大塚直哉レクチャー・コンサート 第10回
オルガンとチェンバロで聴き比べるゴルトベルク

7月20日(土)~28日(日)
音楽劇『死んだかいぞく』

7月26日(金)~28日(日)
[共催]Noism Company Niigata 20周年記念公演
「Amomentof」

8月
ダンス・リダイレクション 講師:瀬山亜津咲

8月25日(日) **埼玉会館**
[共催]東京交響楽団&埼玉会館
東京交響楽団サマー・コンサート
※(同日開催)0歳からの~金管五重奏コンサート

9月28日(土)
バッハ・コレギウム・ジャパン
祝祭のオール・バッハ・プログラム
※9月22日(日)作品解説レクチャーあり

10月12日(土)・13日(日)
彩の国さいたま芸術劇場30周年大感謝祭オープンシアター!
『ダンスのある星に生まれて2024』

10月19日(土)・20日(日)
クリスチャン・リゾー
『D'après une histoire vraie—本当にあった話から』
[共催]ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーベル

10月26日(土)・27日(日)
ラシッド・ウランタン
『Corps extrêmes—身体の極限で』
[共催]ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーベル

11月4日(月・祝) **埼玉会館**
NHK交響楽団
キンボー・イシイ(指揮) 福間洸太郎(ピアノ)

11月10日(日)
ジャパニーズ・ミニマル・ミュージック
~オール・久石譲・プログラム~
[企画・共同制作]あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール

11月23日(土・祝)
エトワール・シリーズ プラス
佐藤晴真(チェロ) Part.2 ピアノ四重奏

12月
彩の国さいたま芸術劇場開館30周年特別企画
吉田鋼太郎演出『夏の夜の夢』

12月8日(日)
パトリツィア・コパチンスカヤ&カメラータ・ベルン

12月15日(日)
サー・アンドラーシュ・シフ ピアノ・リサイタル

2025年1月11日(土)~13日(月・祝)
松井周 x 菅原直樹『聖地(仮題)』

2月7日(金)~9日(日)
Noism0 / Noism1
金森穰 / 近藤良平 新作公演

2月9日(日)
大塚直哉レクチャー・コンサート 第11回
鍵盤の上で踊るバッハ!?

2月22日(土)
坂東祐大 新作 ワーク・イン・プロGRESS ショーイング

3月
新シアターグループ
カンパニー・グランデ 成果発表

シリーズ企画

埼玉回遊 4月~2025年3月

新シアターグループ
カンパニー・グランデ 4月~2025年3月

パーキンソン病患者のためのダンス・プログラム
オンライン・クラス
4月~2025年3月

彩の国シネマスタジオ(彩の国さいたま芸術劇場&埼玉会館)
4月~2025年3月

彩の国さいたま寄席 四季彩亭
5月11日(土)、7月、10月、2025年1月 **埼玉会館**

岩松了劇作塾 8月~2025年3月

光の庭プロムナード・コンサート
第135回 4月20日(土) 大塚直哉(オルガン)&戸高美穂(フルート)
第136回 6月15日(土) 徳田佑子(オルガン)&染谷熱子(ソプラノ)
第137回 9月21日(土)
早川幸子(オルガン、笙)、村田 望(ソプラノ)&東金ミツキ(セルバン)
第138回 12月21日(土) トワイライト・スペシャル
佐藤初音(オルガン)&高橋千草(ヴィオラ)

埼玉会館ランチタイム・コンサート **埼玉会館**
第61回 6月21日(金) NHK交響楽団メンバーによる木管五重奏
第62回 9月30日(月) 山下愛陽(ギター)
第63回 2025年1月9日(木) 邦楽四重奏団
第64回 2025年3月31日(月) 春休みスペシャル
東京交響楽団メンバーによるアンサンブル

2024年3月11日現在。やむを得ぬ事情により、公演開催日、出演者等は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



※駐車場(有料)は台数に限りがございますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。



SAITAMA
ARTS
THEATER
LINE-UP 2024





Photo:Kaiko Miyajima

新シアターグループ、 いよいよ立ち上げ

まず今年は、芸術監督就任から2年にわたって構想を練ってきた新シアターグループを立ち上げます。グループ名は「カンパニー・グランデ」です。グランデ（スペイン語で“大きい”の意）の名のとおり、年齢、性別、国籍、障がいの有無、プロ、アマなどの垣根を超えて人々が集まり、舞台芸術の実践を目指す仲間（Company）となる、大きな器のような場です。多様な人が集まるほどに面白くなるはずですし、そこはできるだけフラットでオープンな集団にしたい。そして、さまざまな体験と実験をともに積み重ねて、作品づくりへ繋げたいです。



“新”シェイクスピア・シリーズ

「さいたま＝シェイクスピア」というイメージをお持ちの方は多いと思いますが、彩の国シェイクスピア・シリーズ芸術監督を務めた蜷川さんと、バトンを引き継いだ吉田鋼太郎さんが、25年かけて全作上演を成し遂げたからこそです。シリーズは劇場のレガシー（遺産）として未来へ繋げようと考え、「彩の国シェイクスピア・シリーズ2nd」（写真）として新たにスタートします。旧シリーズからのファンの方も、旧シリーズに間に合わなかった方も、シェイクスピアの世界にたっぷり浸ってください。しかも、第1作がシェイクスピアの最高傑作とも言われる『ハムレット』ですから、否が応でも期待が高まりますね。

SAITAMA ARTS THEATER LINE-UP 2024



Photo:Pascale Chodette

世界の最前線を楽しむ

世界のダンス・音楽シーンから話題のアーティストを招聘するのも、開館以来の特徴のひとつ。ダンスでは、フランス・ダンスの現在地を知る絶好の機会となる、クリスチャン・リゾーとラシッド・ウランダン（写真）、2人の振付家の代表作をご紹介します。この作品は、フランスの宝飾メゾン、ヴァン クリーフ & アーベルが今秋日本で開催する「ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーベル フェスティバル」の参加演目になります。音楽では、巨匠ピアニストであるサー・アンドラーシュ・シフ、そしてクラシック音楽に新たな切り口を提示する鬼才ヴァイオリニスト、パトリツィア・コパチンスカヤがカメラータ・ベルンとともに登場します。さいたまにしながら世界最高峰の演奏に触れられる喜びをぜひ感じていただけたらと思います。



Photo:Ryo Sato

幅広い世代に 劇場を楽しんでいただく

劇場をより身近に感じていただくため、幅広い世代に向けた作品や企画も行います。ひとつは吉田鋼太郎さん演出による『夏の夜の夢』。シェイクスピア喜劇の名作を、高校生を中心としたティーンエイジャーから大人まで楽しめる作品として創ります。また、下田昌克さんによる絵本を音楽劇として舞台化する、ノゾエ征爾さん脚色・演出の『死んだかいぞく』は、夏休みに家族そろって楽しめる作品として制作します。2年ぶりの開催となるオープンシアター「ダンスのある星に生まれて」では、ダンスの持つ力を借りて、劇場のあらゆる場所を使って楽しめるような仕掛けを考えています。また、光の庭を始めとするオープンスペースでのコンサートやイベントもこれまで以上に活発にしていきたいですね。来るたびに何かを発見できる劇場が目標です。



Photo:Claudia Kempf

Photo:Yoshiyuki Nagatomo

次世代の表現者の発掘・育成

アーティストとの新しい出会いも大切にしていきたいと考えています。ダンスの育成企画「ダンス・リダイレクション」は、テクニックだけでなく、思考力や多様なアプローチを養う場にしたいと考えています。人間の生命活動の中で、ダンスをどう捉え、考えるか。そこからダンスの新しい方向性を見出してもらいたい。初回はヴァッパートル舞踊団の瀬山亜津咲さん（写真左）を講師としてお招きし、登録アーティストにはワークショップやリハール見学など、年間を通じてさまざまな形でダンスに触れてもらいたいと考えています。音楽では、若手アーティストに異なる2つのスタイルで意欲的なプログラムに挑戦してもらう「エトワール・シリーズ プラス」をスタートするとともに、気鋭の作曲家・坂東祐大さん（写真右）と新しい音楽をつくるプロジェクトも立ち上げます。さらに、ジャンルを問わず作品を発表したいアーティストを公募して僕が選ぶ、「彩芸プロッサム」という企画も考えています。アーティストがいろいろな実験をできる劇場として、次世代の表現者を発掘・育成するのは、芸術監督の務めです。

〈クロッシング〉をテーマに掲げて芸術監督として活動してきましたが、劇場もリニューアルオープンし、さらにクロッシングな出会いが生まれるといいと考えています。みなさんもぜひ劇場へ遊びに来て、新しい素敵なお出会いしてみてください。お待ちしております！

INTERVIEW

彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督

近藤良平



RYOHEI KONDO

振付家・ダンサー・ダンスカンパニー「コンドルズ」主宰。1968年東京都出身、ペルー・チリ・アルゼンチン育ち。1996年に「コンドルズ」を旗揚げし、全作品の構成・演出・振付を手がける。世界約30か国で公演を開催。NHK総合「サラリーマンNEO」振付・出演、NHK連続テレビ小説「てっぺん」、NHK大河ドラマ「いだてん」振付。0歳児からの子ども向け観客参加型公演や埼玉県との協働による障がい者ダンスチーム「ハンドルズ」公演（2009年～）など、多様なアプローチでダンスを通じた社会貢献にも取り組む。2022年4月より彩の国さいたま芸術劇場芸術監督。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞、第67回芸術選奨文部科学大臣賞、第67回横浜文化賞受賞。



Photo:Yusei Fukuyama



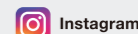
公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1
TEL.048-858-5500(代) FAX.048-858-5515
https://www.saf.or.jp



劇場（総合）@ Theater_SAF
劇場（演劇）@ Play_SAF
劇場（舞踊）@ Dance_SAF
劇場（音楽）@ Music_SAF
埼玉会館 @saitamakaikan



彩の国さいたま芸術劇場 @saitamaartstheater
埼玉会館 @saitamakaikan



彩の国さいたま芸術劇場 @saitamaartstheater
埼玉会館 @saitamakaikan



公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 公式チャンネル
https://www.youtube.com/SAFtheaterchannel